



2023年5月23日

各位

上場会社	フジテック株式会社
代表者	代表取締役社長 岡田 隆夫
(コード番号	6406)
問合せ先責任者	執行役員財務本部長 佐藤 浩輔
(TEL	072-622-8151)

関連当事者取引等に関する第三者委員会の指摘事項に対する当社の対応に関するお知らせ

当社では、2022年8月10日付「第三者委員会に関するお知らせ」においてお知らせしましたとおり、当社の一部株主より指摘を受けた関連当事者取引その他行為について、小林英明弁護士を委員長とする第三者委員会を設置し、追加調査及び検証を実施することとしておりましたが、2023年4月7日付「内山前会長の解職等に関する当社取締役会の見解及び第三者委員会による追加調査及び検証の終了に関するお知らせ」においてお知らせしましたとおり、2023年4月3日、第三者委員会から当社に対し、調査は完了していないものの、当初2022年12月31日までとされた契約期間を延長しない(再契約をしない)との連絡がありました。

上記2023年4月7日付プレスリリースにおいてもお知らせしましたとおり、第三者委員会からは、再契約をしないと判断した理由として、調査において当社との信頼関係が構築できなかったという点のほか、内山高一氏の協力が十分ではなかったという点も指摘されています。この点について、内山高一氏は、メディアのインタビュー等において、調査には協力していたと回答し、その理由として2022年12月頃に半日の調査を二回受けている旨を述べています。しかしながら、第三者委員会によれば、同氏へのヒアリングが実施されたのは、第三者委員会との契約期間満了直前の同年12月28日の一回だけであり、その日程も、第三者委員会から同年12月8日にヒアリングの設定が依頼されたにもかかわらず、特段の連絡もないまま、同月21日になって突如、同氏より一方的に同月27日午後又は28日午前を指定されたものでした。また、同じく上記プレスリリースにおいてもお知らせしましたとおり、第三者委員会は、ほぼ同時期に、内山高一氏が代表を務める法人から、その対応如何によって法的措置を講じる旨の同月27日付警告文を受領した旨も指摘しており、これらの事情だけでも、同氏が調査に協力していたとは到底言えないと考えております。

上記のように第三者委員会による調査自体は終了せざるを得ませんでした。当社としましては、第三者委員会より、調査において当社との信頼関係が構築できなかったと指摘されたことを厳粛に受け止め、その理由として指摘された諸点を含め、現在、外部専門家を起用し、社内のコンプライアンス意識や情報管理等の当社の内部管理体制に対するレビューを実施しており、当該レビュー結果を踏まえて、内部管理体制の再構築及び同様の問題の再発防止を図ってまいります。

また、第三者委員会の調査の対象になっていた関連当事者取引その他の行為についても、現在、独立社外取締役が中心となって、同じく外部専門家を交え、法律上又はコーポレートガバナンス上の重要性に鑑みて、追加調査の実効性、事案解明の可能性、調査コスト等を精査しつつ今後の対応方針を検討しており、具体的な対応方針が決まり次第、改めて株主の皆様にお知らせする予定です。

以上